

第1回宮崎県生涯学習実践研究交流会が開催されました

平成29年1月21日（土）、22日（日）に、宮崎県教育研修センターにおいて、第1回宮崎県生涯学習実践研究交流会が開催されました。

この交流会は、「みやざきの 未来を紡ぐ 生涯学習」をスローガンに、県内外の生涯学習や社会教育の実践事例や大学の公開講座をとおして、「みやざきならではの生涯学習」を考える場として、今年初めて開催されたものです。

参加者は、学びをとおして自己実現を図ることに興味がある方や地域の課題解決に関心がある方（中学生、高校生、大学生、社会教育関係団体、NPO、学校関係者、社会教育行政関係者等）など、2日間でのべ308名が参加されました。

1月21日（土） 記念講演・実践発表



記念講演

月刊生涯学習通信「風の便り」編集長 三浦 清一郎 氏
「未来の必要-人間は自然、教育は手入れ-」

参加者の声

人がこれから生き抜いていくための大切なことを学んだ。
「教育は手入れ」という言葉が心に響いた。



実践発表

「地域ぐるみの子育て・家庭教育支援」「住民協働による地域づくり」「学校と地域との連携・協働」の3分科会、3事例の計9事例の実践発表でした。

参加者の声

企画力、楽しさ、発想力、情熱の素晴らしさを感じた。
今後の実践の参考になるものばかりであった。

1月22日（日） 大学による講座



宮崎国際大学「ミニ英語村」



宮崎大学「地域」×「大学」が生む可能性



香川大学「本気ですか？宮崎の担い手を私たちの手で～学校と地域との連携～」

参加者の声

- ・宮崎大学の地域資源創成学部の取組について 大学生が地域について深く考え、実践していることに感心した。
- ・英語村は、いろいろな国の情報を楽しく知ることができた。コミュニケーション力を高めるよい取組だった。
- ・香川大学の講座では、子供たちの育ちの環境をよくするために協議できてよかった。人との関わりを深めて、地域力を高めていくことの大切さが分かった。